

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 ヨシュア記 1:5	讃 美 歌 512 わがたましいの
讃 美 歌 56 なぬかのたびじ	獻 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 エレミヤ書 7:1~4	主の祈り 564
マルコによる福音書 13:1~2	頌 栄 543 主イエスのめぐみよ
讃 美 歌 404 やまじこえて	祝 禱
説 教 『そんな石ではなく』	後 奏

「イエスが神殿の境内を出て行かれるとき、弟子の一人が言った。〔先生、御覧ください。なんとすばらしい石、なんとすばらしい建物でしょう。〕(マルコ13:1)」。建築材の石の立派さで神殿が讃えられた。石は朽ちない部材として永遠性の象徴でもあった。日本では築城する時、小藩であっても大手門の両脇にとりわけ大きな石を据えて面目を保った。イエスの弟子は、壮麗な石造りを仰いで「おらがイスラエルの神殿」と胸を張る。神殿の「すばらしい石」は高価で、民の莫大な献金で賄われていた。

直前の「やもめの献金」と関連させて思い巡らしてみよう。献金を賽銭箱に投げ入れると、脇に坐した祭司が金額を高らかに公表する。それゆえに「大勢の金持ちがたくさん入れていた(12:41)」。金持ちが献金すれば、神殿の「すばらしい石」一つ(百万円くらいだとして)は買えただろう。貧しいやもめの献金額は1 クアドランス(150 円くらいか)なので(12:42)、石を買うには絶望的。イエスの弟子は「なんとすばらしい石(13:1)」と讃えたが、それはそのまま「金額」に換算できるものであった。

壮麗な石を讃え、神を誇った弟子にイエスは答えた。「これらの大きな建物を見ているのか。一つの石もここで崩されずに他の石の上に残ることはない(13:2)」。見える物は石でさえ永遠ではない。「お前さんは何を見ているんだ、注目すべきは高価な〔石〕ではなく、〔やもめの献金〕じゃないか」。

エレミヤはこう預言した。「主を礼拝するために、神殿の門を入って行くユダの人々よ、皆、主の言葉を聞け(エレミヤ7:2)」。主の言葉とは「主の神殿、主の神殿、主の神殿という、むなしい言葉に依り頼んではならない(7:4)」。「主の神殿！バンザイ」みたいな、賛美の慣用句があつたらしい。「主の神殿」の何が「むなしい言葉」なのか。ズバリ、主なる神ではなく、神殿を讃えているからだ。でもまあ一般的庶民感覚としては、見えない神ではなく自慢できる「すばらしい石、すばらしい建物(マルコ13:1)」に目が向くだろう。日本の寺社にも、そんな庶民感覚に応えた数多くの「寄進札や寄進灯籠」がある。

「貧しいやもめ」は神殿の賽銭箱に、「レプトン銅貨2枚、すなわち1 クアドランスを入れた(12:43)」。手に握っていた2枚の銅貨、それが全財産(12:44)。1枚を献金し、1枚を手元に残しておこうか。それでも誠実だ。やもめは貧しさに思い悩んでいた。「ええいっ、この苦しみをすべて神さまに委ねてしまえ」と銅貨を2枚献金した。するとどうだろう。手の中にあった貧しい苦しみは、スッと消えた。神殿の石にとって「焼け石に水」だが、やもめ自身にとってはリアルな救いであった。その救いはイエスから発せられ、やもめが受けた見えない恵みは、極東の私たちにも伝えられた。

多額の献金をしていた大勢の金持ち(12:41)「皆は有り余る中から入れた(12:44)」。これで「すばらしい石(13:1)」を買い、神殿はますます壮麗なものになろう。一方で金持ちの手の中にはまだたくさん金があり、それが彼らを苦しめるだろう。「金」はいわば暮らしの象徴だが、貧しくても富んでいても思い煩いの原因となる。神殿の石は、手柄や、善行や、敬虔さの主張となり、人間の自由を奪う。

石や金に拘束されてはいけない。手に握りしめている苦しみをすべて神に渡してしまえ。だから十字架が起った。十字架ゆえに私たちは、貧しいやもめのように、不安や苦しみを、すべて手放しうる。

その人自身を讃えるのか だが人間の成果は 比べられ 心地よく持ち上げられ 残酷に墮される
その人を通して現れるキリストはどうか キリストの恵みは比較できない その人も比較されない

2/16(月)10:00~11:30 八ヶ岳教会の甲府聖研(YMCA)。2/18(水)1:00~3:00 教会カフェ(カフェの中で1:30~2:00はミニ聖書講座)。気軽にご参加下さい。2/21(土)1:30~3:30 メディカル・カフェ。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。